

レストラン Copain | 平成29(2017)年度

事業名

栃木県の地域資源をフレンチ風に
アレンジしたおもてなし

烏山手すき和紙を用いたインテリアと益子焼の食器による料理の提供

活用した地域資源

- 烏山手すき和紙
- 益子焼

連携者

- 烏山和紙ファクトリー「福の紙」(烏山手すき和紙)
- 有限会社陶庫(益子焼)
- コーディネーター: 大和田政之(インテリアデザイナー)



① 地場産品を使ったフレンチ ② 烏山手すき和紙のロールスクリーン ③④ ランプシェードに益子焼を使用 ⑤ 益子焼を店内に展示 ⑥ 好みに選べるコーヒーカップ

事業内容

「レストラン Copain」では、栃木県の地域資源である烏山手すき和紙の「光をやさしく通す」という風合いを活かし、店内のインテリアにロールスクリーンを設置しました。また手に取って近くで眺められるように、表紙・中紙に烏山手すき和紙を施したメニューブックも設置しました。

また、店内のランプシェードに益子焼を使用し、店で使用する食器のほぼ全てを益子焼にしたほか、多数の益子焼の作家さんによるコーヒーカップを導入し、専用の飾り棚を設置して客席からギャラリーのように見えるよう配置しました。コーヒーカップはドリンク提供の際にお客様に好きなものを選んでもらい、実際に使っていただくことができます。各カップの写真と作家さんの略歴、参考価格などの情報を書いた冊子を各テーブルに置き、スタッフからも「よろしければお好みのものをお選びください」と積極的にお声掛けを行っています。

レストラン Copain

- 住所/324-0054 栃木県大田原市若松町1650-356
- TEL/0287-55-1652 ■ FAX/0287-55-1652
- <https://ameblo.jp/restaurant-copain>

業務内容

- 飲食業(フレンチ)

本事業への想い(将来の展望など)

レストラン Copain 森 千代子

私は栃木県から離れた土地で長く暮らしていましたが、不思議と休業時代から「自分の店を出すなら故郷である栃木で」という思いが強くありました。実際に栃木に帰ってきてみると、この土地の素晴らしさを改めて実感します。その素晴らしい土地が生み出し、歴史と共に育まれた地域資源の数々を少しでも多くの方に触れていただくお手伝いがしたいという思いから、今回の事業を手掛けました。

「こんな使い方もあるのか」「実際に触れてみるとこんなのか」という新たな感動に出会える工芸品の魅力と、「Copain」に食事に来られた方に実感していただくとともに、私自身も伝統工芸品にフレンチを合わせるという試みを通して新たな発見があり、学ばせていただくこともたくさんありました。今後もさまざまな可能性を見出していきたいと考えています。